

陳述書の提出等について（注意）

○競売物件の入札をするには、入札書とともに、陳述書の提出が必要となりました。

○入札ごとに陳述書が提出されなければ、入札は無効となります。

○陳述書は、以下のとおり個人用、法人用などの種類があるので該当するものを使用してください。

○陳述書の記入・押印・提出は、陳述書下部の「注意」をよく読んで行ってください。

○陳述書の記載や添付書類に不備があると、入札が無効となる場合があります。※特に個人・役員名のフリガナもれに御注意ください。

○陳述書の用紙は、執行官室において入手可能です。

※該当する口にチェックを入れてください。

陳述書 (買受申出人(個人) 本人用)			
大阪地方裁判所執行官 殿			
事件番号	☐ 平成 ☐ 令和	年()第 号	物件番号
私は、暴力団員等ではありません。			
私は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人の計算において買受けの申出をする者ではありません。			
☐ 自己の計算において私に買受けの申出をさせようとする者は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」記載のとおりです。(注意書9参照) この者は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人ではありません。			
(陳述書作成日) 令和 年 月 日			
買受申出人(個人)	本人	住 所	〒
		(フリガナ)	
	氏 名		(印)
	性 別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦	年 月 日

注 意

- 1 陳述書は、一括売却される物件を除き、物件ごとに別の用紙を用いてください(鉛筆書き不可)。
- 2 事件番号及び物件番号欄には、公告に記載された番号をそれぞれ記載してください。事件番号及び物件番号の記載が不十分な場合、入札が無効となる場合があります。
- 3 本用紙は、買受申出人が個人の場合のもので、法人の場合は、法人用の用紙を用いてください。また、買受申出人に法定代理人がある場合(未成年者の親権者など)は、買受申出人(個人) 法定代理人用の用紙を用いてください。
- 4 共同入札の場合には、入札者ごとに陳述書及び添付書類を提出してください。
- 5 「暴力団員等」とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者」を指します。
- 6 陳述書は、氏名、住所、生年月日及び性別を証明する文書(住民票等)を添付して、必ず入札書とともに提出してください。提出がない場合、入札が無効となります。
- 7 氏名、住所、生年月日及び性別は、それらを証明する文書のとおり、正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 8 買受申出人が宅地建物取引業者の場合には、その免許証の写しを提出してください。
- 9 自己の計算において買受けの申出をさせようとする者(買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。)がある場合は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付が必要です。
- 10 提出後の陳述書及び添付書類(別紙を含む)の訂正や追完はできません。
- 11 虚偽の陳述をした場合には、6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処せられることがあります(民事執行法213条)。

※該当する口にチェックを入れてください。

陳述書 (買受申出人(法人) 代表者用)			
大阪地方裁判所執行官 殿			
事件番号	☐ 平成 ☐ 令和	年()第 号	物件番号
当法人は、暴力団員等が役員である法人ではありません。			
当法人は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人の計算において買受けの申出をする者ではありません。			
☐ 自己の計算において当法人に買受けの申出をさせようとする者は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」記載のとおりです。(注意書9参照) この者は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人ではありません。			
(陳述書作成日) 令和 年 月 日			
買受申出人(法人)	代表者	法人の所在地	〒
		法人の名称	
	代表者氏名		(印)
	役 員	別紙「買受申出人(法人)の役員に関する事項」のとおり	

注 意

- 1 陳述書は、一括売却される物件を除き、物件ごとに別の用紙を用いてください(鉛筆書き不可)。
- 2 事件番号及び物件番号欄には、公告に記載された番号をそれぞれ記載してください。事件番号及び物件番号の記載が不十分な場合、入札が無効となる場合があります。
- 3 本用紙は、買受申出人が法人の場合のもので、個人の場合は、個人用の用紙を用いてください。
- 4 共同入札の場合には、入札者ごとに陳述書及び添付書類を提出してください。
- 5 「暴力団員等」とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者」を指します。
- 6 陳述書は、必ず入札書とともに提出してください。提出がない場合、入札が無効となります。
- 7 所在地、名称及び代表者氏名は、資格証明書(代表者事項証明、全部事項証明等)のとり、正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 8 買受申出人が宅地建物取引業者の場合には、その免許証の写しを提出してください。
- 9 自己の計算において買受けの申出をさせようとする者(買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。)がある場合は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付が必要です。
- 10 提出後の陳述書及び添付書類(別紙を含む)の訂正や追完はできません。
- 11 虚偽の陳述をした場合には、6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処せられることがあります(民事執行法213条)。

(別紙)

※該当する口にチェックを入れてください。

買受申出人(法人)の役員に関する事項			
1	住 所	〒	
	(フリガナ)		
	氏 名		
	性 別	☐ 男性 ☐ 女性	
2	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦	年 月 日
	住 所	〒	
	(フリガナ)		
	氏 名		
3	性 別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦	年 月 日
	住 所	〒	
	(フリガナ)		
4	氏 名		
	性 別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦	年 月 日
	住 所	〒	

注 意

- 1 買受申出人が法人の場合は、本書面の提出が必要です。提出がない場合、入札が無効となります。
- 2 役員全員(代表者を含む)の氏名、住所、生年月日及び性別を正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 3 役員5人以上の場合は、本用紙を複数枚用いてください。
- 4 提出後の本書面の訂正や追完はできません。

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 1月14日

大阪地方裁判所第14民事部

裁判所書記官 高 崎 幸 次

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 2月 3日 午前 9時00分から 令和 8年 2月13日 午後 5時00分まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8年 2月20日 午前 9時30分 大阪地方裁判所執行部等合同庁舎3階開札場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8年 3月 6日 午前10時00分 大阪地方裁判所第14民事部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによります。 (1) 当部の当座預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、 全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫 の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限（民事執行規 則33条）		☆印を付した物件は農地です。権限を有する行政庁が交付した買 受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は 届出を要しない者に限り、買受けを申し出ることができます。
一般の閲覧に供するため、令和 8年 1月14日午前9時から入札期間最終日午 後4時30分まで物件明細書、現況調査報告書及び評価書の各写しを大阪地方裁判 所執行部等合同庁舎3階物件明細閲覧室に備え置きます。		



316

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	3, 410, 000 2, 728, 000	一括	690, 000	32, 156	8, 179
1	1, 390, 000				
2	2, 020, 000				
		</			



物 件 目 録

- 1 所 在 四條畷市南野二丁目
地 番 1784番11
地 目 宅地
地 積 57.88平方メートル
- 2 所 在 四條畷市南野二丁目1784番地11
家屋 番号 1784番11
種 類 居宅
構 造 木・鉄筋コンクリート造瓦葺3階建
床 面 積 1階 29.58平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル

(現況)

- 種 類 居宅・車庫・物置
床 面 積 1階 約42.44平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年12月 5日

大阪地方裁判所第14民事部

裁判所書記官 高 崎 幸 次

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-----|-------------|
| 1 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目 |
| | 地 番 | 1784番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 57.88平方メートル |
-
- | | | |
|---|-------|--|
| 2 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目1784番地11 |
| | 家屋 番号 | 1784番11 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木・鉄筋コンクリート造瓦葺3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 29.58平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル |
- (現況)
- | | | |
|--|-------|---|
| | 種 類 | 居宅・車庫・物置 |
| | 床 面 積 | 1階 約42.44平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル |



令和7年(ケ)第273号
令和7年8月8日受理
令和7年 月 日提出
7.9.11

現況調査報告書

大阪地方裁判所

執行官 森 川 友 智

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目 |
| | 地 番 | 1784番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 57.88平方メートル |
| 2 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目1784番地11 |
| | 家屋 番号 | 1784番11 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木・鉄筋コンクリート造瓦葺3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 29.58平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	大阪府四條畷市南野二丁目5番12号		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地(物件1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点が異なる(☒ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☒ 種類：居宅・車庫・物置 ☐ 構造： ☒ 床面積：1階 約42.44平方メートル		
物件目録にない附属建物	☒ ない 種類： ☐ ある 構造： 床面積： {		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居(空き家)、車庫として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
執行官保管の仮処分	☒ ない [地方裁判所 支部 平成 年()第 号 ☐ ある [保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

そ の 他 の 事 項

(表札等の表示)

- 1 表札の表示 なし
- 2 郵便受けの表示 なし

(目的土地の現況について)

- 1 目的土地を適宜概測したところ、形状および地積は概ね地積測量図のとおりであると思われるが、正確には専門家による測量を要する。
- 2 目的土地は目的建物の敷地となっている。
- 3 目的土地の東側接面道路は、建築基準法上の道路である。
- 4 目的土地と西側隣地との間に高低差があり、目的土地は、西側隣地より約3メートル高くなっている。

(目的建物の現況について)

- 1 目的建物の形状は、概ね間取略図のとおりであると思われる。
- 2 目的建物内部の状況は別紙添付写真のとおり。
- 3 目的建物内には、冷蔵庫、テーブル、椅子等の家財道具のほか、サーフボード、自転車などの動産類が存在する。
- 4 目的建物では、プロパンガスが利用されていたと思われる。
- 5 1階は、車庫・物置として利用されていたと思われ、物置部分は未登記であった。物置部分の東側の一部は天井高が約1.5メートルであった。
- 6 目的建物は経年相当の劣化、損耗が認められる。

(その他の状況について)

- 1 当職は、令和7年8月12日、所有者宛に照会書等の文書を送付したが、同人からは回答がない。
- 2 当職が令和7年8月19日に物件所在地に臨場した際には、所有者の姓が表示された表札があり、所有者の姓及び「(株)にじR&D」という表示がされた郵便受けが設置されていたが、同年9月5日に立入調査で臨場した際には、いずれも撤去されている状況であった。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3枚目)

執 行 官 の 意 見

(目的物件の占有関係)

ライフライン調査、立入調査の結果から、目的建物は所有者が、住居・車庫・物置
(空き家) として使用、占有しているものと認める。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(4 枚目)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和7年8月12日	執行官室	ライフライン調査、照会書送付（所有者宛）
令和7年8月19日 10:25 - 10:35	物件所在地	物件および占有調査、照会書投函（居住者宛）
令和7年8月19日 10:50 - 11:00	四條畷市役所	道路等調査
令和7年8月20日 9:15 - 9:25	大阪法務局池田出張所	公図等調査
令和7年8月22日 9:20 - 9:25	大阪法務局池田出張所	法人登記調査
令和7年9月5日 13:30 - 14:00	物件所在地	立入調査（評価人帯同）

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

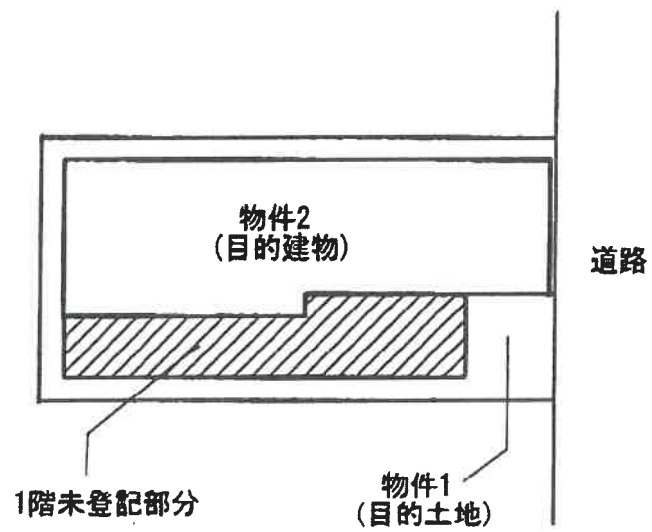
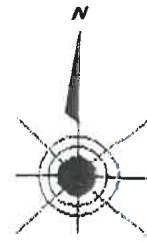
☒ 令和7年9月5日
目的物件は不在で施錠されていたので、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

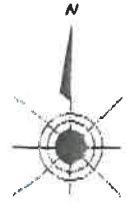
☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

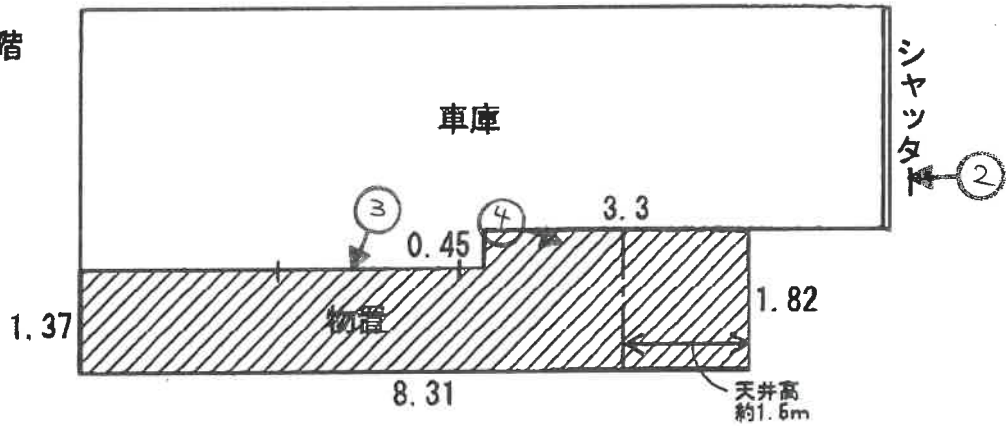


間取略図

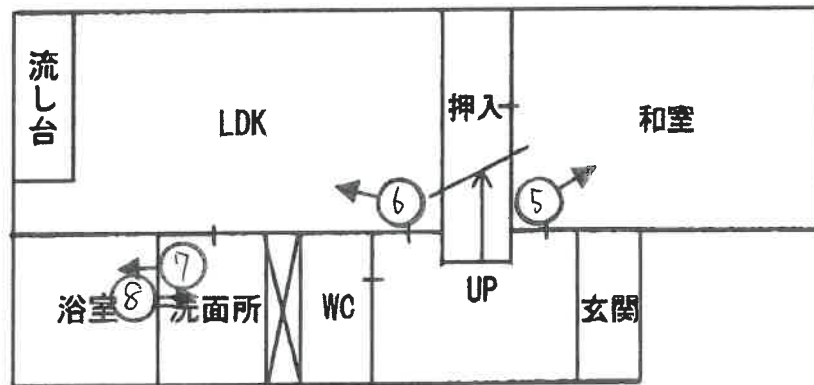


.....未登記部分

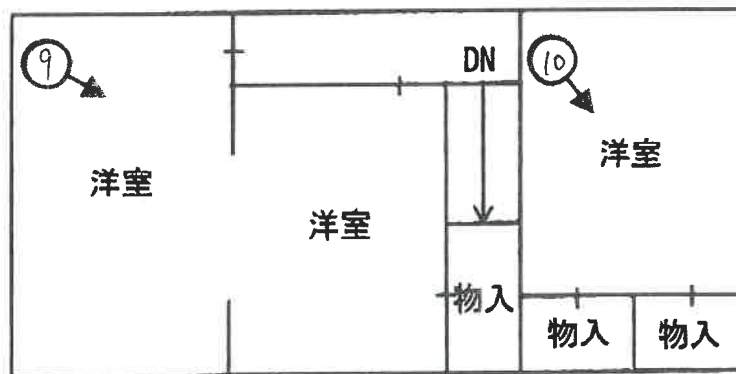
1階



2階



3階



1階未登記部分面積

$$8.31 \times 1.37 = 11.384$$

$$3.3 \times 0.45 = 1.485$$

.....

$$\text{合計} \quad 12.869$$

$$= \text{約} 12.86\text{m}^2$$

【写真】

①



目的建物

②



③ 1階車庫の南西側の増築部分



増築部分（物置）

④ 1階車庫の南東側の増築部分



増築部分（物置）

⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



令和7年（ケ） 第273号
令和7年9月5日 現地調査
令和7年9月16日 評 価

大阪地方裁判所 第14民事部 御中

評 価 書
(土地付建物)

評価人 不動産鑑定士

八木正美

第1 評価額

一括価格	
金 3,410,000円	
内訳価格	
物件1	金 1,390,000円
物件2	金 2,020,000円

- 1 一括価格は、物件1，2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の要因（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	物件目録記載のとおり	特記事項記載のとおり
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載のとおり	特記事項記載のとおり
番号	特 記 事 項		
1	現地を計測したところ、概測数量と登記数量は概ね一致した。形状は概ね地積測量図のとおりであった。		
2	① 公簿上の種類は居宅であるが、現況は1階は車庫及び物置、2階～3階が居宅であった。 ② 建物の形状は間取略図のとおりであり、2階及び3階は法務局備付の建物図面と現況は概ね一致したが、1階は建物図面と現況床面積には差異が認められ、約12.86㎡(物置)の未登記部分が存在した。(位置、範囲は間取略図参照。)		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR片町線 四条畷駅 北東方 道路距離 約1,500m (別添「位置図」参照)		
	最寄バス停 近鉄バス 東小学校北停留所 南方 道路距離 約600m		
付近の状況	主に小規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域		
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	市街化区域	
	用途地域	第1種中高層住居専用地域	
	建ぺい率	60%	
	容積率	200%	
	防火規制	準防火地域	
	その他の規制	宅地造成等工事規制区域、砂防指定地	
画地条件	規模	57.88㎡	
	形状	ほぼ長方形	
	間口・奥行	間口約5.45m・奥行約10.6m	
	高低差等	接面道路、北側及び南側隣地とは概ね等高接面、西側隣地より約3m高い。	
接面道路の状況	東側	幅員約4.8m私道(建築基準法42条1項5号)	
	接道状況	中間画地	
土地の利用状況等	現況	戸建住宅	
	東側	道路	
	西側	畑	
	南側	戸建住宅	
	北側	戸建住宅	
供給処理施設	上水道	あり	目的物件について左記供給処理施設の稼働状況等については未確認である。
	ガス配管	なし	
	下水道	あり	
	(注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下、「施設管」という。)が通っており、通常のコストで敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。		
土壌汚染等	目的土地の旧土地台帳写からは田、畑の登記地目、個人、農林省の所有者名の履歴が確認された。過去の住宅地図によると、目的建物建築以前は白地の表示であった。土壌汚染の有無及びその内容について確実な情報を得るには、土壌汚染調査会社による調査を要する。		
特記事項	特になし。		

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存耐 用年数等	建築年月日 経過年数 経済的残存耐用年数	(登記記載) 昭和61年10月26日新築 約39年 約0年
仕 様	構 造	木・鉄筋コンクリート造
	屋 根	瓦葺
	外 壁	吹付等
	内 壁	クロス貼等
	天 井	クロス貼等
	床	畳、フローリング等
	設 備	電気、給排水設備等
床面積（現況）	延 約 125.23㎡ 1階に未登記部分(物置、約12.86㎡)が存在した。	
現況用途等	階 層	3階建
	現況用途	居宅・車庫・物置
	間取り	間取略図参照
品 等	普通	
保守管理の状態	普通	
建物の利用状況	現況調査報告書参照。	
特 記 事 項	① 建築確認（有）、検査済証(無) ② 1階物置の東側の一部は天井高が約1.5mであった。 ③ 目的建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格(円) (千円未満四捨五入) オ (ア×イ×ウ×エ)
1	74,800	1.02	57.88	0.90	3,974,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 四條畷-7

公示価格等 121,000円/㎡ × 時点修正 101.1/100 × 標準化補正 100/101 × 地域格差 100/162 = 標準画地価格 74,800円/㎡

◇時点修正： 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：	接面・方位(西)	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.01	1.00	1.00	1.00	1.01

◇地域格差：	街路(連続性)	接近	環境	行政	総合(相乗積)
	1.02	1.06	1.50	1.00	1.62

イ 個別格差：	接面・方位(東)	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.02	1.00	1.00	1.00	1.02

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格(円) (千円未満四捨五入) エ (ア×イ×ウ)
2	180,000	約125.23	0.04	902,000

ウ 現価率

経過年数 約39年

経済的残存耐用年数 約0年

観察減価 30%

残価率 5%

耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

$$\text{現価率} = \{ \text{残価率} 5\% + (1 - 0.05) \times \text{経済的残存耐用年数} 0\text{年} / (\text{経過年数} 39\text{年} + \text{経済的残存耐用年数} 0\text{年}) \} \times (1 - 0.3) \\ = 0.04$$

※観察減価は維持管理状況及び中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) (千円未満四捨五入) ウ (ア×イ)
1	3,974,000	0.50	法定地上権	1,987,000

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ, 1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有 減価 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	その他の 控除減価 (敷金等) (円) カ	評価額 (円) (万円未満四捨五入) キ〔(ア+イ)×ウ×エ×オ×カ〕
1	3,974,000	－ 1,987,000		1.00	0.70		1,390,000
2	902,000	＋ 1,987,000	1.00	1.00	0.70	0	2,020,000
一括価格 (合計)							3,410,000

ウ 占有減価

本件の場合不要。

エ 市場性修正

本件の場合不要。

オ 競売市場修正

第2の「評価の条件」欄記載の不動産競売市場特有の要因を考慮のうえ、競売市場修正率を0.70と決定した。

カ その他の控除減価 (敷金等)

本件の場合不要。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格（四條畷-7）

所 在 : 四條畷市南野1丁目1514番5 「南野1-13-14」
価 格 : 121,000円／㎡
位 置 : JR片町線「四條畷」駅の北東方約900m（道路距離）
価格時点 : 令和7年1月1日
地 積 : 111㎡
供給処理施設 : 水道・ガス・下水
接面街路 : 西 4.5m 道路
用途指定等 : 第1種中高層住居専用地域、準防火地域
建蔽率60％・容積率200％
地域の概要 : 中小規模一般住宅等が建ち並ぶ住宅地域

2 固定資産税評価額（令和7年度）

物件1 : 2,578,554円
物件2 : 1,867,257円

第7 附属資料

- 1 受命物件の位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 間取略図

以 上

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目 |
| | 地 番 | 1784番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 57.88平方メートル |
| 2 | 所 在 | 四條畷市南野二丁目1784番地11 |
| | 家屋 番号 | 1784番11 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木・鉄筋コンクリート造瓦葺3階建 |
| | 床 面 積 | 1階 29.58平方メートル
2階 41.39平方メートル
3階 41.40平方メートル |



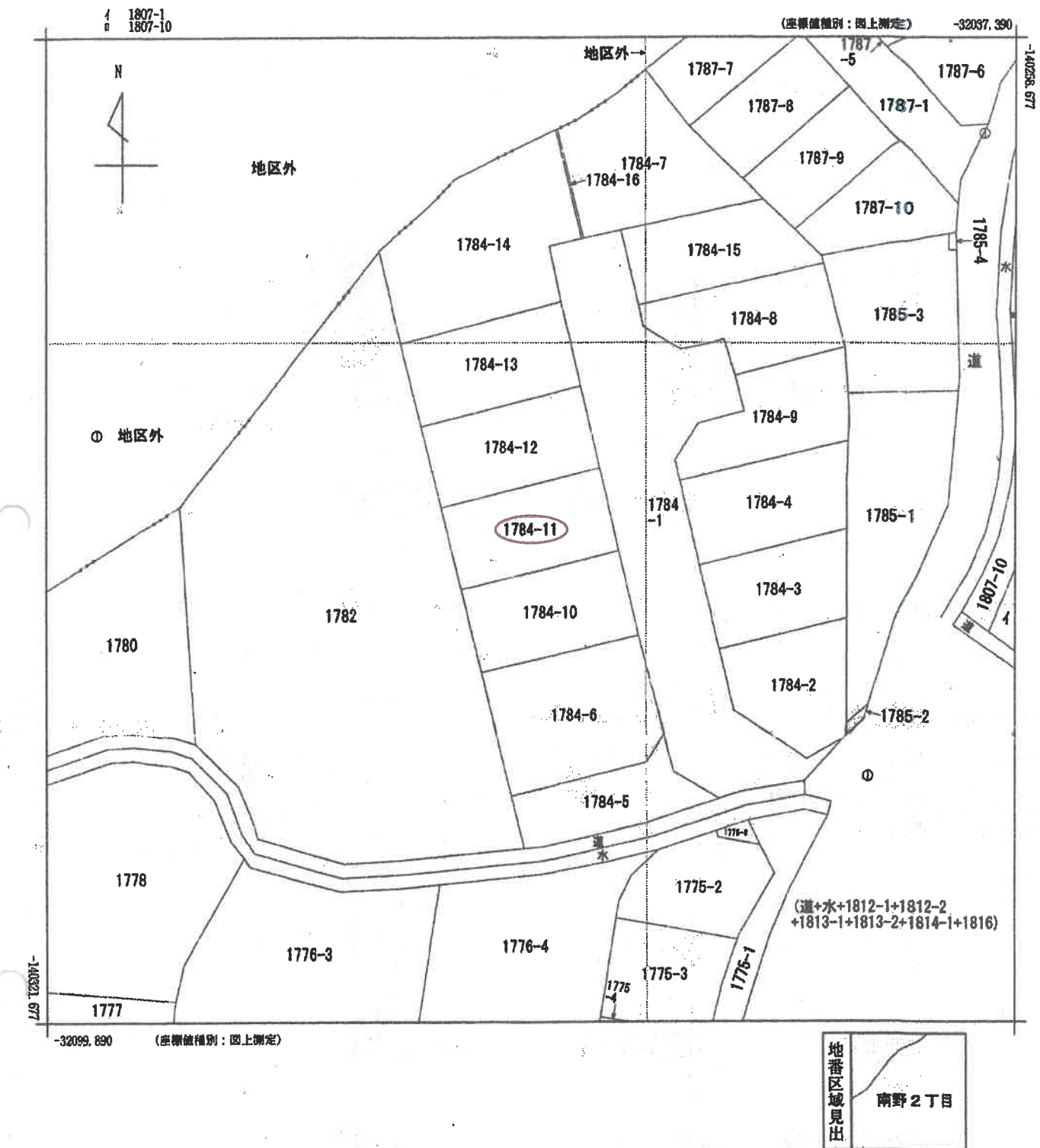
位置図

S = 1:10,000

目的物件

地価公示標準地
四條畷-7

最寄駅



請求部	所 在 四條畷市南野二丁目					地 番 1784番11				
出力縮尺	1/250	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	VI	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

(大阪法務局東大阪支局管轄)

令和7年6月27日

大阪法務局

地図整理番号: M47130

登記官

(1/1)

A3をA4に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した面である。
(大阪法務局東大阪支局管轄)
令和7年6月27日 大阪法務局

令和7年6月27日 大阪法務局

추진방안

地圖整理番号: M47131

A3をA4に縮小

[illegible]

登記年月日：昭和61年10月30日

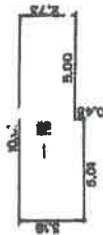
これは図面に記載されている内容を説明した書面である。
(大阪支局東大阪支局管轄)
令和7年6月27日 大阪支局

各階平面図

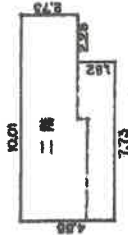
建物図面

家屋番号 1784-11

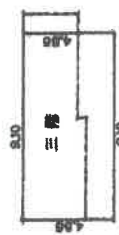
建物の所在 四条阪市南野二丁目 1784-11



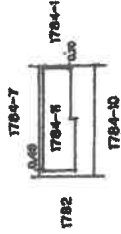
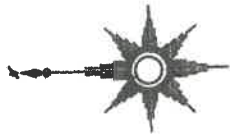
一階 式算表
5.01 x 3.18 = 15.9318
5.00 x 2.73 = 13.6500
合計 29.5818
床面積 29.58 m²



二階 式算表
7.73 x 4.55 = 35.1715
2.26 x 2.73 = 6.2244
合計 41.3959
床面積 41.39 m²



三階 式算表
9.10 x 4.55 = 41.4050
合計 41.4050
床面積 41.40 m²



235669

申請人

縮尺

1/250

作製者

10月29日(木)

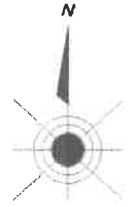
縮尺

1/500

地図整理番号：M47132

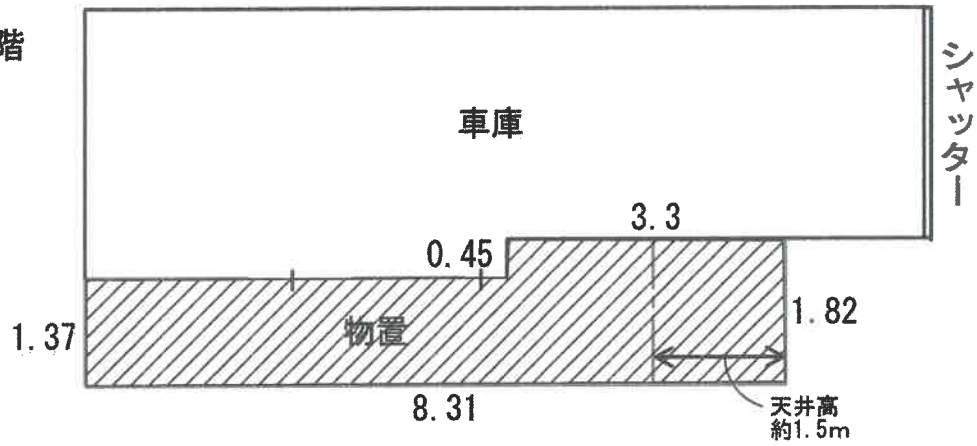
A3をA4に縮小

間取略図

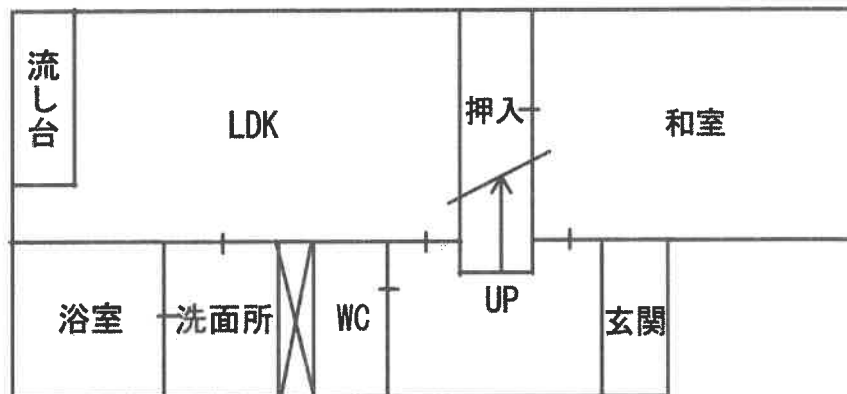


未登記部分

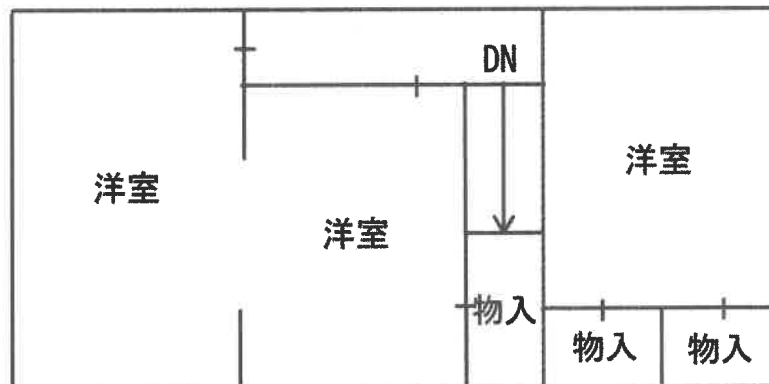
1階



2階



3階



1階未登記部分面積

$$8.31 \times 1.37 = 11.384$$

$$3.3 \times 0.45 = 1.485$$

.....

$$\text{合計} \quad 12.869 \\ = \text{約} 12.86 \text{m}^2$$